

東シナ海ブロック水産業情報

No. 127(2024年10月~12月)

増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
	<p>○有明海</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月18日(金)の午前6時出港で採苗は開始された。19日まで水温24℃超のため殻胞子放出が抑制され、芽付きは低調、21日から殻胞子の放出は本格化し25日に採苗は概ね終了。 ・育苗期のノリ網に付着珪藻の過度な着生が広範囲で確認された。 ・11月13日から冷凍網の入庫作業が開始され21日まで行われた。 ・11月19日から初摘採は開始されたが、12月5日から、アカシオサンガイネア、キートセロス属の増殖に伴う栄養塩低下により、色落ちが発生し継続した。 ・海況が悪いため、一斉撤去は実施せず。 ・12月末までの生産は次のとおり。生産枚数2億5,782万枚(過去5年比70%)、生産金額82億1,899万円(過去5年比151%)、平均単価31.88円(過去5年比+17.12円)。 <p>○豊前海</p> <p>【カキ養殖】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成育の遅れがみられたが、水温低下にともない、11月以降、成長及び身入りとも向上。 <p>【栽培関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かくや装置」によるアサリ稚貝生産、「網袋」による干潟での保護・育成試験を実施中。 	<p>○有明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マガキ養殖 <p>6月下旬から7月中旬にかけて、まとまった降雨があったものの、カキの大量斃死はなく、順調に養殖が行われている。11月13日に実施した生産状況調査では、この時点での推定生産状況は21.9トンとなり、令和5年度の同時期の約14.3トンよりも多い状況であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノリ養殖 <p>今年度の採苗日は10月18日(10月17日18時出港)で行われた。例年、採苗は3日ほどで終了するが、今年度は記録的な高水温の影響で10日後の10月27日に終了した。11月11日から冷凍入庫が始まり、11月16日から秋芽網1回目の摘採が始まった。その後、12月に入り、降雨が少なく推移(12月降雨佐賀市観測12mm)したことから、12月9日には全域で色落ち被害が発生した。</p> <p>○玄海</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アカウニ50万個飼育中 		<p>ブリ:ノカルジア症 カンパチ:レンサ球菌症(Ⅲ型)、ノカルジア症 ヒラメ:ネオベネデニア症 シマアジ:マダイイリドウイルス病、レンサ球菌症(Ⅱ型、Ⅲ型) トラフグ:ヘテロボトリウム症、粘液胞子虫性ヤセ病 クルマエビ:ピブリオ病</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県